INTERNATIONAL SIGHTSEEING PARK

小諸城址

懐古園

CASTLE GARDEN KOMORO NOSTALGIA KAIKOEN

信州小諸

SHINSYU KOMORO

足をのばせば、見どころいっぱい 小諸ガイド

軽井沢
日本を代表する爽やかなリゾート。四季を通じてにぎわいます。

布引観音
牛に化身して信心浅い老婆を善光寺に導いたという伝説があります。

旧小諸本陣
旧北国街道沿いの家並みなどがあり、小諸の歴史にふれることができます。

高濱虚子記念館
小説「虹」などの名作を生んだ近代俳句の巨匠、高濱虚子の記念館。

高峰高原
車坂峠を中心とした高原。富士山、八ヶ岳、北アルプスが一望できます。

小諸高原美術館・白鳥映雪館
白鳥映雪や小諸義塾にまつわる画家などの作品が展示されています。

アクセスガイド

東京	新幹線 70分	軽井沢	しなの鉄道 20分	小諸	
東京	新幹線 75分	佐久平	小海線 15分	小諸	
長野	しなの鉄道 55分			小諸	

しなの鉄道・JR小海線 小諸駅から徒歩約３分

東京方面 練馬	関越自動車道 60分	藤岡ＩＣ	上信越自動車道 60分	小諸
長野方面 長野	上信越自動車道 10分	更埴JCT	上信越自動車道 30分	小諸

上信越自動車道 小諸ICから車約３分

開園時間

8:30～17:00（動物園8:30～17:00）
（※11月30日まで無休・12月～3月中旬は毎週水曜日休園・年末年始は12月29日～1月3日休園）
遊園地 9:00～17:00（※11月30日まで無休・12月～3月中旬は休園）

入園料

共通券 ■下記の施設全てがご利用いただけます ○園内散策 ○小諸義塾記念館 ○動物園 ○徴古館 ○藤村記念館 ○小山敬三美術館	個人	大人	500円	団体（20名様以上）	大人	400円	駐車場 大型 1,500円 普通 500円 自動二輪 200円
		小人	200円		小人	150円	
散策券 ■園内散策及び動物園に入園できます	個人	大人	300円	■無料で観光ガイドをいたします。こもろ観光ガイド協会 Tel. 0267-22-0568			
		小人	100円				

※表示金額は消費税込の料金です。

●お問い合わせは

小諸市 懐古園事務所

〒384 - 0804 長野県小諸市丁311
TEL 0267-22-0296 FAX 0267-25-0296
http://www.city.komoro.nagano.jp/

歴史が彩る古城のロマン。ここには、ゆるやかな時が流れています。

小諸城の起りは、平安時代から鎌倉時代にかけて「源平盛衰記」や「平家物語」に登場する小室太郎光兼（木曽義仲の武将）が、現城址の東側に館を築いた。またその後、大井光忠が小室氏の勢力をおさえて鍋蓋城を築きその子光為がさらに出城として乙女城、別名白鶴城（二の丸跡）を構えたが、武田信玄の攻略により落城。信玄はこの地が重要であることから山本勘介と馬場信濃守信房に命じて築城した。“酔月城”ともいわれている。

その後、織田信長の将滝川一益、徳川家康の将松平源十郎康国が城主になった。さらにその後、仙石秀久が城主となって二の丸・黒門・大手門を建て、その子忠政が三の門・足柄門を建て現在の小諸城が完成した。その後、城主は徳川・松平氏など六氏に変り、元禄15年（1702年）、牧野氏が入り十代続いた。

この城の特徴は、全国的にも珍しい城下町より低い穴城で、浅間山の火山灰でできているため、水を用いず、崩れやすい断崖が堅固な要塞となっている。

明治4年（1871年）の廃藩置県で役割を終え、明治13年（1880年）に神社を祀り、懐古園と呼ぶようになった。

若草が香り、樹々は芽ぶき、桜の花が咲きほこる。日本の桜の名所一〇〇選・小諸城址。馬場の小諸八重紅枝垂は有名。

苔むした石垣と大樹の緑より深く、高原の風さわやか。

もみじ、けやきの老木が色鮮やかに染まり、落ち葉ふむ音、郷愁に誘われる。

寸みわたる空に夕陽が映える。

島崎藤村ロマンただよう信濃の名城「日本百名城」に認定

小諸城址

懐古園

Amusement Park & Zoo

児童遊園地
ツインドラゴン・メリーゴーランドなどの遊具があります。

ロードトレイン
懐古園入り口から児童遊園地までの道を走るトレイン。

動物園
大正15年（1926年）に開園。ライオン、ペンギン、川上犬などの動物が飼育展示されている。江戸時代にはモミ蔵があった。

島崎藤村と小諸

島崎藤村は明治32年（1899年）4月、かつての恩師・木村熊二に招かれて小諸義塾の教師として赴任しました。
以降小諸で過ごした7年間に「雲」「千曲川のスケッチ」「落梅集」「旧主人」などが生まれ、大作「破戒」が起稿されました。

三の門　二層の城門で、元和元年（1615年）に創建。寛保2年（1742年）の大洪水で流出し、明和2年（1765年）に再建。両塀に矢狭間・鉄砲狭間が付けられた戦闘式な建物。正面の「懐古園」の扁額は徳川家達（いえさと）の筆。国重要文化財。

大手門　小諸城の正門。慶長17年（1612年）藩主仙石秀久が小諸城を築いた時代の建築。小諸城の表玄関にあたり、本丸から数えて4番目の門なので「四の門」とも「瓦門」とも呼ばれた。平成の大修理を経て、江戸時代の姿を今も残す。国重要文化財。

酔月城 惜春

藤村詩碑
島崎藤村の小諸時代の作「千曲川旅情のうた」の詩碑で、詩面は藤村自筆のもの。

天守台
三層の天守閣があったが、寛永3年（1626年）に落雷で焼失。その後は徳川の政策により再建されなかったといわれている。

若山牧水歌碑
「かたはらに
　秋草の花かたるらく
　ほろびしものは
　　なつかしきかな」

小山敬三美術館
小諸出身の文化勲章受賞小山敬三画伯の近代絵画が数多く展示されている。建物はわが国最高峰の建築家「村野藤吾」氏の設計

藤村記念館
藤村の小諸時代を中心とした作品・資料・遺品が展示されている。建物はわが国最高峰の建築家「谷口吉郎」氏の設計。

徴古館
小諸城ゆかりの武具や古文書が陳列されている。

小諸義塾記念館
私塾小諸義塾に関わる資料を展示。塾長は木村熊二で島崎藤村も教鞭をとっていた。